

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎
TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
さて、この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
何卒、ご利用、ご用命の程よろしくお願い申し上げます。

謹 白

記

● 新規受託項目:

■ 百日咳菌-LAMP (百日咳菌核酸検出)

※ 本検査は、百日咳菌の遺伝子を LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法で検出するもので、感度と特異度が高いうえ、迅速に結果を得ることができ、他の呼吸器疾患との鑑別および百日咳の早期診断に有用です。

◆ 受託開始期日:平成 29 年 2 月 27 日(月)受付分より

※詳細につきましては裏面をご参照ください

■ 百日咳菌-LAMP(百日咳菌核酸検出)

百日咳は、グラム陰性桿菌の百日咳菌(*Bordetella pertussis*)の気道感染による急性呼吸器感染症です。百日咳はワクチン未接種の乳幼児が罹患した場合には重症化しやすく、ことに新生児、乳児では生命に危険が及ぶことも稀ではありません。本症はかつて、乳幼児を中心に夏季に流行する疾患でしたが、近年の国立感染症研究所の報告によると、成人層の割合が年々高くなってきており、2010年には半数以上を占めるに至って、小児への感染源としても危惧されています。なお、19歳以下で最も多数を占めているのは0歳児です。


百日咳は、アデノウイルス、マイコプラズマ、クラミジアなどの感染症と同様の発作性の咳を示すため、鑑別診断が必要です。

これまで百日咳の診断には、細菌学的検査(培養法)や血清学的検査(抗体測定)が用いられてきましたが、感度・特異度・迅速性の面で十分ではありませんでした。本検査は、百日咳菌の遺伝子を LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法で検出するもので、感度と特異度が高いうえ、迅速に結果を得ることができ、他の呼吸器疾患との鑑別および百日咳の早期診断に有用です。

◆ 検査内容:


検査項目名	百日咳菌-LAMP
採取容器	専用容器 (下記、採取方法をご参照ください)
保存方法	冷蔵
所要日数	3~6日
参考基準値	(-)
単位	なし
実施料 / 判断料	D023 07 百日咳菌核酸検出: 360点 (レセ電コード:160209450) 微生物学的検査: 150点 【備考】 ・区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「7」HCV 核酸検出、HPV 核酸検出、HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)の所定点数に準じて算定できます。 ・関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床診断例の定義を満たす患者に対して、LAMP 法により測定した場合に算定できます。

◆ 採取方法:



被験者の頭を動かさないようによく押さえ、その後、専用容器(図1)を後鼻腔に静かに挿入して粘液を採取します。採取後は冷蔵にてご提出ください

図1:専用容器



◆ 関連データ:

● LAMP法と培養法の相関

		培養法		
		+	-	計
LAMP 法	+	46	3	49
	-	0	98	98
	計	46	101	147

陽性一致率= 100.0%
陰性一致率= 97.0%
全体一致率= 98.0%

● LAMP法とPCR法の相関

		PCR法		
		+	-	計
LAMP 法	+	49	0	49
	-	2	96	98
	計	51	96	147

陽性一致率= 96.1%
陰性一致率= 100.0%
全体一致率= 98.6%

● LAMP法と臨床診断の相関

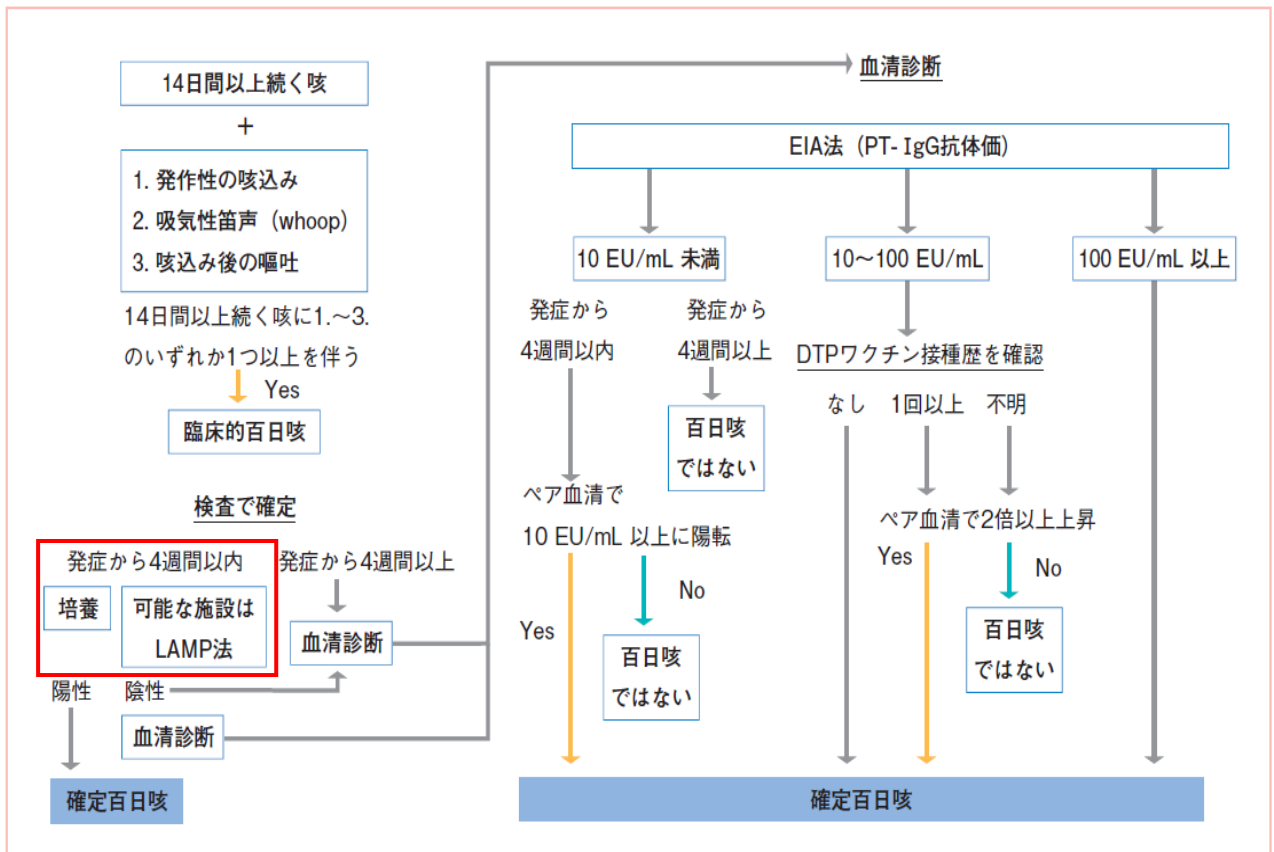
		臨床診断		
		+	-	計
LAMP 法	+	49	0	49
	-	13	85	98
	計	62	85	147

感 度 = 79.0%
特異度 = 100.0%
正診率 = 91.2%

(測定試薬添付文書より一部抜粋)

◆ 百日咳診断のフローチャート

図VI-10 百日咳診断のフローチャート



参考文献: 日本呼吸器学会 咳嗽に関するガイドライン第2版作成委員会: 咳嗽に関するガイドライン 第2版, 社団法人日本呼吸器学会, 35, 2012)